

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572706323
法人名	社会福祉法人 横手福寿会
事業所名	グループホームひだまりの家
所在地	秋田県横手市増田町吉野字梨木塚101-1番地
自己評価作成日	平成23年 3月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do">http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田ハッピーライフセンター
所在地	秋田市将軍野桂町5番5号
訪問調査日	平成23年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ひだまりの家の理念「ゆったりとした介護・寄り添った介護・思いやりのある介護」に基づき、入居者の皆さんの立場に立ち、安心して居心地良く暮らしていただけるよう支援している。また、出来ることや出来るだけ自分から行っていただけるよう配慮し、少しでも自立につながるよう支援している。一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な対応、言葉遣いに日々心がけている。  
食事支援では、献立の相談から買い物、食事作りまで入居者と一緒に行い、食事を楽しむことができるよう支援している。入浴支援では、毎日入浴できるよう体制を整え、ご本人の気分や希望に応じて入れるよう対応している。ご家族とはまめに連絡を取り、情報交換に重点を置いた「家族会」も開催している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

家庭的で暖かみのあるゆったりとした雰囲気の中で、利用者とコミュニケーションを良く図りながら、一人ひとりの個性に合わせた寄り添った介護が行われている。特に利用者に対することば使いや口調に配慮しながら声かけをしており、思いやりのある介護の実践である。  
職員は、毎月の職員会議やユニット会議で、検討課題について意見交換をしながら理念の実践に向けた取り組みが行われている。食事の献立では、利用者がある食材を見て献立を考え、食事の準備や調理に係わるなど、食事を楽しむことの支援が行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	1ユニット(せせらぎ)	2ユニット(いぶき)
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	1ユニット(せせらぎ)		2ユニット(いぶき)	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない	
66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの理念を作り、毎月の全体会議で実践に結び付けられるようにしており、全体会議で理念を共有している。	地域密着型サービスの理念を作り、毎月の全体会議で実践に結び付けられるようにしており、全体会議で理念を共有している。	「自分たちがここに入所したら」という気持ちで、職員みんなで考えた理念であり、毎月の職員会議やユニット会議で理解を深めており、実践に向けて職員一丸となった取り組みが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的とまではいかないが、地域の行事やご本人の地元に出かけられるよう支援している。	施設の立地条件から困難だが、個人個人が買い物や行事に出かけている。	住宅地から離れていることから、「地域とのつながりをもつ」という目標を掲げて、地域の行事に出かけるなどの支援が行われている。	今年度は、「地域とのつながりを持つ」ということを理念に加えて、地域の行事に出かける等、徐々に支援が行われているが、さらに、事業所が行う行事の際に、近隣の地域にチラシ等を配付しながら、地域の方々を招くなど、引き続き地域との関わりに工夫されることを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域向け広報紙を発行し、認知症について理解していただけるよう分かりやすい内容にしている。	地域向け広報紙を発行し認知症についての知識が還元できる内容にしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動状況について詳しく報告し、ご意見や要望をいただき、出されたご意見については運営に活かしている。	日々の活動について報告し、意見をいただき、運営に取り入れている。	2か月に1回、土・日の事業所の行事に合わせて運営推進会議を開催しており、会議の中での意見や要望を取り入れた運営が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員が毎月二回訪問しており、状況を理解していただいている。運営推進会議に市町村担当者が出席しており、詳しい状況を把握していただけるようにしている。	介護相談員が毎月二回訪問しており、状況を理解していただいている。運営推進会議に市町村担当者が出席しており、詳しい状況を把握していただけるようにしている。	市町村の担当者が運営推進会議に出席しており、日常的に解らないことがあれば気軽に聞くことができるほか、情報やアドバイスをスムーズに得るなど良好な関係を築き、利用者の支援に繋げている。	運営推進会議のメンバーに、社協並びに地域包括センターなどの参加を求めながら、地域の多様な情報を得て、理念が実践されることを期待する。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や勉強会を通じて学んでいる。	夜間以外は、施錠をしていない。声掛けの仕方にも注意を払っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関にセンサーや鈴を備え付けており、夜間以外は施錠はしておらず、ベッドにもセンサーを付けるなど、身体拘束は一切しないというケアに取り組んでいる。また、言葉による拘束にも注意を払い、自由な生活を基本としたケアに取り組まれている。	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議を通して学ぶ機会を持ち虐待防止に努めている。		/	/
			全体会議を通して学ぶ機会を持ち虐待防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性のある入居者については、活用できるよう支援している。		/	/
			必要性のある入居者については、活用できるよう支援している。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の面談時、契約時等に十分な説明を行っている。		/	/
			入居前の面談時、契約時等に十分な説明を行っている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族へは年一回のアンケートを実施したり、運営推進会議等で意見・要望をうかがい、運営に反映させている。入居者の方には、介護相談員も話をうかがっている。	家族へは年一回のアンケートを実施したり、運営推進会議等で意見・要望をうかがい、運営に反映させている。入居者の方には、介護相談員も話をうかがっている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場環境を良くする会で意見を聞く会を設け、その反映に努めている。	職場環境を良くする会で意見を聞く会を設け、その反映に努めている。	各ユニットから選んだ「職場環境を良くする会」で要望や意見を聞いて、その意見を月一回の職員会議やユニット会議で話し合いを持つ等の工夫が見られる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は随時状況を把握している。代表者は、給与改定等を行い、労働条件の整備を行っている。	代表者は、随時状況を把握している。代表者は、給与規定の改定等を行い、労働条件の整備を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修が受けられるようにしているが、全員とまではっていない。	職員を育てる仕組みは、各部署に任されていており管理者が主に行っている。本人の力量に合わせた研修に参加できるよう職員の希望も取り入れながら取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横手市グループホーム情報交換会、横手市南部グループホーム情報交換会に参加している。人事交流や研修を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。	横手市及び横手市南部グループホーム情報交換会に参加し、実践報告や人事交流を行いグループホームの質の向上に努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談時、管理者と居室担当で十分に聞き取りを行っている。	事前面談時、管理者と居室担当で十分に聞き取りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談時、ご家族からお話を十分にうかがっている。		
			事前面談時、ご家族からお話を十分にうかがっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている <b>※小規模多機能型居宅介護限定項目とする</b>			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者に教えていただけるような機会を出来るだけ作るよう努めている。		
			調理の仕方について分からないことでも分かっていることでも教えていただけるような関わり方に心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	可能な範囲でご家族の協力を得られるよう働きかけている。		
			面会時、家族会・運営推進会議の際に出来るだけお話をうかがい関係づくりに努めており、可能な範囲での協力が得られるように働きかけている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<p>なじみの関係について本人やご家族にうかがい、継続できるよう努めている。</p> <p>ユニットの年間目標に掲げて取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族から情報を得ながら、買い物や温泉に出掛けるなど、さらに利用者の地元に出向いて関係する人と会う機会を作るなど、利用者の気持ちを大切にされた支援が行われている。</p>	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<p>入居者同士の交流が図れるよう職員が仲介している。</p> <p>一人ひとりのコミュニケーションの状況を把握し、孤立せずに関わりを持てるように職員が仲介している。</p>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<p>退居後も可能な場合は、ご本人に面会にうかがったり、状況確認のため家族に問い合わせすることも行っている。</p> <p>退居後も可能な場合は、ご本人に面会にうかがったり、状況確認のため家族に問い合わせすることも行っている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<p>会話を大切にし、本人の思いが引き出せるよう努めている。</p> <p>本人の意向をできるだけ反映できるよう、要望をうかがっている。</p>	<p>一人ひとりに合わせた話し方や口調でコミュニケーションを図り、日常的な会話の中から感じる情報を把握して、職員の全体会議やユニット会議で共有しながら対応されている。</p>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<p>事前面談時に詳しくうかがい、その他は日常会話やご家族から情報を得て状況把握に努めている。</p> <p>入居時や家族会・面会時等にご家族より情報をいただいたり、日常会話から伺い把握に努めている。</p>	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<p>常に状況把握に努め、カルテ、申し送り表、連絡ノート、会議等で情報を共有している。</p> <p>常に状況把握に努め、カルテ、申し送り表、連絡ノート、会議等で情報を共有している。</p>	/	/

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時、ご本人、ご家族から要望をうかがい、職員からも意見をもらいケアプランに反映させている。	ケアプラン作成時、ご本人、ご家族から要望をうかがい、職員からも意見をもらいケアプランに反映させている。	家族の希望や要望を聞きながら、職員と話し合いを重ね、ケアマネージャーとのカンファレンスを行いながら現状に即した介護計画を作成し、作成後は家族への十分な説明が行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテに日々の様子や実践の結果を詳しく記録している。その他連絡ノートや申し送り表に記録、全員が目を通してケアの実践やケアプランの更新、見直しに活かしている。	ご本人の状況についてカルテ、申し送り表、連絡ノート、ケアノートに記録し情報を共有し、ケアプランの更新や日常のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる <b>※小規模多機能型居宅介護限定項目とする</b>				
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	全員とまでは行かないが、本人のバックグラウンドから情報を得て以前利用していた店等を利用できるよう支援している。	全員とまでは行かないが、本人の希望に沿って支援している。ご本人が以前利用していた店等にも行けるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>ご本人、ご家族が希望する病院への受診が出来るよう配慮している。主治医や薬局とも良好な関係が築けるように努めている。</p> <p>ご本人、ご家族が希望する病院への受診が出来るよう配慮している。主治医や薬局とも良好な関係が築けるように努めている。</p>	<p>家族の意向に沿って職員が掛かりつけ医に随行しており、また、家族が付き添う場合は日常の状況を記入した用紙を持参してもらうなどの配慮がされている。また、訪問歯科医の診療も行っており、薬局との関係も良好に図られている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<p>職場内の看護師には常に相談しており、必要に応じて受診を検討している。看護師不在の場合は、りんごの里の看護課に相談しアドバイスを受けている。場合によっては駆けつけてくれることもある。</p> <p>職場内の看護師には常に相談しており、必要に応じて受診を検討している。看護師不在の場合は、りんごの里の看護課に相談しアドバイスを受けている。場合によっては駆けつけてくれることもある。</p>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>入院時には、速やかに情報提供を行い、出来るだけ多く面会にうかがっている。面会時、退院時には医師や看護師から情報を得て退院後の生活支援に活かしている。</p> <p>入院時には、速やかに情報提供を行い、出来るだけ多く面会にうかがっている。面会時、退院時には医師や看護師から情報を得て退院後の生活支援に活かしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行わない方針であることを、入居時及び随時繰り返しご家族へは説明しており、理解を得ている。重度化しそうな場合は、出来る範囲を説明し理解していただきながら必要な支援を行っている。	看取りは行わない方針であることを、入居時及び随時繰り返しご家族へは説明しており、理解を得ている。重度化しそうな場合は、出来る範囲を説明し理解していただきながら必要な支援を行っている。	入居時に看取りは行わないという事業所の方針を家族に説明をして理解を得ている。なお、重度化などの状況に応じて、家族の同意を得ながら医療機関や施設等への入所等の支援が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会で定期的に緊急時の対応を実技で行いながら確認している。	勉強会で定期的に緊急時の対応を実技で行いながら確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の避難訓練、毎月の通報訓練を実施しており、全員避難訓練も行っている。地域の消防団には万が一の場合の協力が得られるよう了解をもらっている。	年二回の避難訓練、毎月の通報訓練を実施しており、全員避難訓練も行っている。地域の消防団には万が一の場合の協力が得られるよう了解をもらっている。	年2回の避難訓練や、毎月通報訓練を行っており、非常時には地域協力員の協力が得られるようにしている。スプリンクラーや発電機の設備もあり、今年は車イスを増やすなど、非常時対策が強化されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに対して丁寧な対応に心がけ、特に言葉遣いには十分な注意を払い、対応している。  言葉遣いや対応の仕方に十分注意を払い、ひとりひとりに配慮した対応を行っている。	一人ひとりに合わせた言葉使いや利用者の特徴を踏まえて接するなど、利用者の人格が尊重されている。また、トイレ誘導や失禁などの対応においても、プライバシーに配慮した工夫がされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ本人に選んでいただけるような機会を作るよう努めている。  本人の希望をうかがう機会を常に意識し、希望を取り入れた支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	受診等のその日のスケジュールに左右されることもあるが、可能な限りご本人の希望に添えるよう支援している。  ペースに応じた支援を心がけている。希望については毎日とはいかないが希望に沿えるよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	その人らしい髪型や服装を理解して支援している。	/	/
			その人らしい髪型や服装を理解して支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る力と希望を考慮して、偏りがないよう分担して食事準備が出来るように支援している。	食事を作る際に、食材をみせて利用者から献立の意見を聞いて、職員と一緒に楽しみながら作るほか、全員に準備や後片づけの関わりを持たせながら、出来る力の発揮や喜びに工夫がされている。さらに、個別にまたは全員で外食の支援が行われている。	
			出来る力を活かしながら一緒に献立からかたづけまで行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取状況を把握し、職員同士連携をとり必要な量が摂取できるよう支援している。	/	/
			栄養バランスや摂取状況をみて不足する場合はそれを補えるように工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、本人の出来る力に応じた支援をしている。			
			毎食後の口腔ケアは、本人の力量に応じた支援をしている。義歯は毎日義歯洗浄剤で消毒している。			
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの状況を把握し、出来る限りトイレで排泄できるよう支援している。		一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握して、チェック表を付いたり、時間をみながらトイレ誘導を行っており、自尊心に配慮しながら、自立に向けた支援が行われている。	
			排泄パターンを把握し、失敗が少なくなるように支援している。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日乳飲料や牛乳を摂取していただいたり、水分を多く取っていただくようにしている。リハビリ体操を毎日行い、できるだけ体を動かす機会を作っている。			
			毎日乳飲料や牛乳を摂取していただいたり、毎日リハビリ体操を行い、体を動かす機会を作っている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の気分や希望に応じて入浴できるよう支援している。	本人の希望に沿った入浴の支援が行われている。さらに、入浴を拒む利用者には温泉と一緒に出掛けたり、足浴を行うなどの支援がされている。		
			本人の希望を募ったり、自分から希望される場合はそれに沿って支援している。健康状態にも配慮している。			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに応じて休息を取っていただいている。夜間は、物音などに配慮し、ゆっくり眠れるよう配慮している。			
			必要に応じて午睡していただいている。夜は出来るだけ静かな環境を整えている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	概ね理解できている。症状に大きく変化がある場合には、病院と連絡を取り相談している。			
			全員とまではいかないが、概ね理解している。不明な点があった場合は、薬剤師に問い合わせしている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	身の回りのことや日課、役割、買い物等ができるよう一人ひとりに合わせて支援している。			
			一人ひとりの生活歴を把握し、それが活かせる機会を作る努力をしている。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している <b>※認知症対応型共同生活介護限定項目とする</b>	本人の希望をうかがい、毎日とはいかないが一人ひとりの希望が実現できるよう計画を立てて実施している。	食材の買い出しと一緒に出向いたり、本人の買い物や温泉、ドライブに出かける等のほか、利用者の地元の行事に出かける等、日常的に外出支援が行われている。		
			本人の希望に添い計画を立て行きたい場所には行ける支援を行っている。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方は、現金を自己管理していただいている。買い物時には出来るだけ自分で支払いが出来るよう支援している。			
			本人の力量に合わせてお金を所持していただいている。買い物時には出来るだけ自分で支払いを行っていただけるようにしている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用を勧める等行っている。			
			公衆電話が利用できるよう支援している。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	適度な温度、明るさ、湿度、音の大きさ等に配慮し快適に過ごせる環境を作っているが、季節感をもっと取り入れたい。			
			適度な温度、明るさ、湿度、音の大きさ等に配慮し快適に過ごせる環境を作っている。	事業所全体が大家族の家庭的な雰囲気であり、くつろげるタタミのスペースがある等、安らぎが感じられる。		利用者が昔を懐かしむことができるよう古里の写真を飾ったり、また、木の実を採取して季節感を取り入れたり、利用者相互の会話が図られるよう、環境づくりに向けて検討されることを期待する。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている <b>※認知症対応型共同生活介護限定項目とする</b>	ソファや和室があるが、利用が少ない。			
			和室、ソファの利用も行っている。食堂の席も快適に過ごせるよう座る位置も配慮している。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	年間目標に掲げ取り組んでいる。	居室には、テレビ、タンス、家族の写真、植物など利用者がこれまで使用していた物や必要な物が持込まれ、安心して過ごせる居室環境が作られている。	
		本人の使い慣れたものや愛着のある物を持ちこんでいただけるようにしている。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内のベットやタンスを行動範囲に合うような配置にしたり、つかまれる椅子を配置したりして、安全に配慮している。	/	/
		トイレや居室の前に目印をつける等分かりやすい環境を整備している。			